

問020019解説

◆解答

設問1 a エ b ウ c エ d イ
設問2 e ア f オ
設問3 g オ h カ i エ j ア

◆解説

トランザクションファイルを使用してマスタファイルを更新処理する複数ファイル処理に関する問題である。

売上データファイルのトランザクションファイルを使用して、商品マスタファイルの在庫量、入庫量、出庫量を更新し、会計年度の売上総利益を求め、商品別売上一覧表を作成したり、得意先別売掛金マスタを更新し、得意先別売上一覧表を作成する問題である。

問題中には処理のための流れ図が与えられており、複数ファイル処理を行うためのレコードのキーの内容、年度会計処理のためのデータ項目、売上総利益を計算するための計算式が求められている。

設問1

a、cは、日次処理(2)の場合で売上データファイルと得意先別売掛金マスタファイルを利用して得意先別売上一覧表を作成する処理である。売上ファイルを得意先コードで整列し、得意先別売掛金マスタファイルを更新し、得意先別売上一覧表を出力する。

b、dは、日次処理(1)の場合で売上データファイルと商品マスタファイルを利用して商品別売上一覧表を作成する処理である。売上ファイルを商品コードで整列し、商品マスタファイルを更新し、商品別売上一覧表を作成する。

設問2

在庫マスタファイルのレコードの商品別在庫量は、年初の在庫量、当月の入出庫量から年初から当月末までの入出庫量を求めることができる。

eは、年初から当月までの入出庫量であり、fは年初の在庫量になる。当月の入出庫量は日次処理で更新し、月末に締める。年初から当月までの入出庫量は日次処理で更新し、年初から期末まで継続して更新する。

設問3

売上総利益の計算式は次のようになる。

$$\begin{aligned} \text{売上総利益} &= \text{年初から当月までの出庫量} \times \text{販売単価} \\ &\quad - (\text{年初在庫量} + \text{年初からの仕入量} - \text{在庫量}) \times \text{仕入単価} \\ &= \text{オ} \times \text{販売単価} - (\text{カ} + \text{エ} - \text{ア}) \times \text{仕入単価} \end{aligned}$$